

人類の出現と文明プリン ト

名前

問1 秦の始皇帝が、中国の北部に「万里の長城」を築き、大規模な防壁を整備した歴史的な背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 京都公立入試 類似)

1. 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため
2. 東南アジア諸国との交易を独占し、経済を活性化させるため
3. 仏教を国教として保護し、巡礼者のための道を整備するため
4. 国内の農民が勝手に国外へ逃亡するのを物理的に遮断するため

問2 中国の黄河流域で栄えた古代王朝である「殷（商）」において、亀の甲羅や牛の骨に刻んで用いられ、現在の漢字の原型となったとされる文字を何といいますか。 (2020年 三重公立入試 類似)

1. 甲骨文字
2. 金文
3. 楔形文字
4. 象形文字

問3 アレクサンドロス大王の東方遠征によって、ギリシャの文化とオリエントの文化が結び付いて生まれた文化を何と言いますか。また、その文化の影響が、奈良県にある法隆寺のどのような場所に見られるとされていますか。正しい組み合わせを選んでください。 (2022年 岐阜公立入試 類似)

1. ヘレニズム文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画
2. ヘレニズム文化であり、法隆寺の五重塔に納められた塑像
3. ルネサンス文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画
4. ルネサンス文化であり、法隆寺の五重塔に納められた塑像

問4 古代メソポタミアにおいて、粘土板に文字を刻んで情報を記録する仕組みが発達した背景として、当時の社会状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 奈良公立入試 類似)

1. 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため
2. 巨大な墳墓の壁面に、王の死後の世界を描いた物語を装飾として残す必要があったため
3. 亀の甲羅や動物の骨を焼き、そのひび割れの形から国の吉凶を占う儀式を重視したため
4. 仏教の教えを周辺諸国に広めるため、持ち運びが可能な軽い素材に経典を記す必要があったため

問5 1949年、相沢忠洋によって関東地方の赤土の層（関東ローム層）から石器が発見されたことで、日本列島にも土器出現以前の文化が存在したことが初めて証明されました。この発見の舞台となった群馬県の遺跡の名前として適切なものを選びなさい。 (2017年 群馬県公立入試 類似)

1. 岩宿遺跡
2. 三内丸山遺跡
3. 吉野ヶ里遺跡
4. 登呂遺跡

問6 世界で最も早く文明が誕生したとされる四大文明の共通点として、なぜそれらの地域が大河の流域であったのか、その理由と背景を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2019年 沖縄公立入試 類似)

1. 大河の周辺は山岳地帯に囲まれており、外敵の侵入を防ぐのに適した要塞のような地形だったから。
2. 定期的な川の氾濫が肥沃な土壌を運び、農業の生産性が向上したことで、人口が増え集団を統治する国家が必要になったから。
3. 川の流れを利用した水力発電が可能になり、早期に工業化が進んだことで、周辺地域を支配する軍事力を手に入れたから。
4. 広大な砂漠地帯において、唯一の交通路である大河を独占することで、シルクロードを通じた東西貿易の利益を独占できたから。

問7 古代文明で使われた文字の記録方法について、メソポタミア文明における特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2024年 鹿児島公立入試 類似)

1. 亀の甲羅や動物の骨に、鋭利な道具で占いの結果などを刻み込んだ。
2. パピルスという植物から作られた紙のようなものに、インクを用いて書き残した。
3. 柔らかい粘土板に、植物の茎を押し付けて独特の形状の跡を刻んだ。
4. 石碑や神殿の壁面に、王の業績を称えるために具象的な絵を用いた文字を彫った。

問8 メソポタミア文明において生み出され、現代の私たちの生活における「時間」や「暦」の考え方の基礎となっている数学的・天文学的知識の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2017年 三重公立入試 類似)

1. 1週間を7日とする制度と、60進法の活用
2. 1年を365日とする太陽暦と、10進法の活用
3. ゼロの概念の発見と、十進位取り記数法
4. 二十四節気の導入と、太陰太陽暦の作成

問9 18世紀後半から、オーストラリアがイギリスの支配下に置かれ、開拓や資源の獲得の拠点となっていた歴史的な状態を指す用語として、最も適切なものを選択してください。 (2016年 山口公立入試 類似)

1. 植民地
2. 保護国
3. 自治領
4. 委任統治領

問10 古代文明の一つであるエジプト文明において、天文学や数学などの科学技術が高度に発達した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 沖縄公立入試 類似)

1. ナイル川の氾濫時期を予測し、洪水後の土地を正確に測り直す必要があったため
2. 甲骨文字を用いて亀の甲羅で占うことで、政治的な意思決定を行うため
3. ハムラビ法典のような厳しい法律を運用するために、文字の記録を重視したため
4. 都市国家アテネとの交易を円滑にするため、共通の度量衡を確立する必要があったため

問11 弥生時代に現れた青銅器と、奈良時代に現れた和同開珎。これら2つの資料の使われ方や目的の違いを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2014年 愛媛公立入試 類似)

1. 青銅器は狩猟の道具として実用的に使われたが、和同開珎は死者を弔うための副葬品として使われた。
2. 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。
3. 青銅器は大陸との貿易を円滑にするための通貨であったが、和同開珎は国内の物々交換を禁止するために作られた。
4. 青銅器は稲作の収穫効率を高める農具として使われたが、和同開珎は寺院を建立する際の地面を固める材料として使われた。

問12 古代ギリシャのアテネでは、市民が集まって直接話し合い決定を行う政治が行われていた。市民が公務や軍事に従事する一方で、重労働は奴隷が担っていたとされる。このように、有権者自身が議論の場に参加して意思決定を行う政治形態を何というか。 (2025年 青森県公立入試 類似)

1. 直接民主政
2. 間接民主政
3. 独裁政治
4. 立憲君主制

問13 バチカンのサン・ピエトロ大聖堂の歴史的背景について記されたレポートにおいて、11世紀末から開始されたキリスト教徒による大規模な軍事遠征の目的として最も適切な説明はどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)

1. イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと
2. 教会による免罪符（贖宥状）の販売に抗議し、聖書の教えに基づく信仰を確立すること
3. キリスト教の教義に反する考えを持つ人々を裁判にかけ、信仰の純粋性を守ること
4. シルクロードを通じた東洋との交易を独占し、新しい航路を確保すること

答え合わせ・解説

問1	答え 1 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため	当時の中国にとって、北方から機動力を活かして攻め込んでくる遊牧民（匈奴）の存在は大きな脅威でした。始皇帝は中国全土を統一した後、国家の安全保障のために大規模な土木工事を行い、これら遊牧民の侵入を阻止するための防壁を築きました。これが万里の長城の起源であり、その後の王朝でも修復や改修が繰り返されました。
問2	答え 1 甲骨文字	殷の時代には、国家の重要な事柄を占いで決めており、その結果を記録するために亀の甲羅や牛の骨に文字が刻まれました。これがのちの漢字の直接の祖先となり、中国文明の大きな特徴の一つとなっています。
問3	答え 1 ヘレニズム文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画	紀元前4世紀のアレクサンドロス大王の遠征をきっかけに、ギリシャの文化が東方のオリエント文化と融合してヘレニズム文化が誕生しました。この文化はシルクロードを通して東アジアまで伝わり、日本の飛鳥文化にも影響を与えました。法隆寺金堂壁画に見られる豊かな肉体表現などは、その代表的な事例として知られています。
問4	答え 1 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や取引の記録を正確に残す必要があったため	大きな河川の流域で農業が発展し、多くの人々が暮らす都市国家が形成されるようになると、蓄えられた余剰産物の管理や、遠方との取引の内容を正確に記録・保存する必要が生じました。文字は、複雑化した社会の運営や徴税を円滑に行うための実用的な統治ツールとして発明されました。
問5	答え 1 岩宿遺跡	群馬県の岩宿遺跡での発見は、日本の歴史学において画期的な出来事でした。それまでは、火山の噴火による火山灰が堆積した関東ローム層からは人類の痕跡は見つからないと考えられていましたが、相沢忠洋がこの地層から打製石器を発見したことで、日本にも氷河時代に人類が生活していた「旧石器時代」があったことが確定しました。
問6	答え 2 定期的な川の氾濫が肥沃な土壌を運び、農業の生産性が向上したことで、人口が増え集団を統治する国家が必要になったから。	大河の流域では、氾濫によって運ばれる栄養豊富な土を利用して大規模な農業が可能になりました。治水や灌漑（かんがい）などの大規模な作業を統率するために強力な指導者が現れ、それがやがて国家の形成へとつながりました。これに伴い、記録のための文字や曆も発達しました。
問7	答え 3 柔らかい粘土板に、植物の茎を押し付けて独特の形状の跡を刻んだ。	メソポタミア文明が成立した地域では、紙の原料となる植物よりも粘土が豊富に得られたため、記録媒体として粘土板が活用されました。乾く前の柔らかい粘土に茎を押し付けて書く技法が、楔形文字特有の形を生み出しました。他の選択肢は、中国文明の甲骨文字や、エジプト文明のヒエログリフに関する記述です。
問8	答え 1 1週間を7日とする制度と、60進法の活用	メソポタミア文明では、天体の動きを観察する天文学が発達し、そこから1週間を7日（七曜制）とする制度が考案されました。また、数学においては、60をひとつの区切りとする「60進法」が使われていました。この考え方は、現代においても1分を60秒、1時間を60分とする時間の単位や、円の角度を360度とする基準として受け継がれています。
問9	答え 1 植民地	1788年にイギリスの船団がシドニーに到着して以降、オーストラリアはイギリスの流刑地や定住地として開発されました。このように、ある国が自国の主権を国外に広げ、軍事的・経済的に支配した土地を植民地と呼びます。当初は先住民であるアボリジニの居住地でしたが、イギリスはこれらを「無主の地」として支配を強めました。
問10	答え 1 ナイル川の氾濫時期を予測し、洪水後の土地を正確に測り直す必要があったため	「エジプトはナイルのたまもの」という言葉がある通り、エジプトの生活はナイル川の恩恵を受けていました。毎年の増水時期を知るために天文学が発達して太陽暦が作られ、また、洪水によって境界が不明になった土地を再区画するために測量技術や幾何学（数学）が発達しました。
問11	答え 2 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。	弥生時代の青銅器（銅鐸、銅剣、銅矛など）は、当初は武器の形をしていましたが、次第に大型化し、豊作を祈るなどの祭りの道具として用いられるようになりました。一方、奈良時代の和同開珎は、律令制のもとで国家の経済的基盤を固め、都の造営などの支出をまかなうために発行された貨幣です。資料の用途の変化は、単なる道具の進化ではなく、社会の仕組みが「村の共同体」から「統一国家」へと発展したことを示しています。
問12	答え 1 直接民主政	アテネで行われていたのは、市民全員（ただし成年男性のみ）が民会に出席して直接議決権を行使する政治形態であり、これを直接民主政と呼ぶ。これに対し、現在の多くの国のように選挙で選ばれた代表者が議会で政治を行う仕組みを間接民主政（議会制民主主義）という。
問13	答え 1 イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと	十字軍はローマ教皇の呼びかけに呼応したヨーロッパ諸国の王や貴族によって組織されました。主な目的はイスラム教勢力から聖地エルサレムを奪還することでしたが、遠征の過程で地中海東岸への進出や商業的利益の確保といった側面も持つようになり、西ヨーロッパ社会が外の世界へと拡大する契機となりました。